ワンランク上の暮らしを考える人の情報紙　2015 APR. vol.209

クラッシー　CLASSY

発行　筑後八女地区　◉西日本新聞エリアセンター
企画　イースタンコミュニケーションズ
印刷　株式会社 東兄弟　TEL 0943-24-2111
八女市祈祷院５６３　〒834-0025
HP：www.dcity-yame.com
E-mail　higashikeitei@tea.ocn.ne.jp

クラッシーのバックナンバー（2010.1.1号より）がインターネットでご覧になれます。
「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

4 APR

5	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24/31	25	26	27	28	29	30

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
心配ごと相談（八女市） 八女市社会福祉会館　4月1日･15日 黒木町ふじの里　4月1日･15日 上陽町地域福祉センター　4月8日･22日 立花町かがやき　4月8日･22日 **法律相談（要予約）** 八女市社会福祉会館　4月10日 黒木町ふじの里　4月17日 上陽町地域福祉センター　4月24日 **司法書士相談** 黒木町ふじの里　4月10日 八女市社会福祉協議会　4月17日 **筑後市** 心配ごと相談 毎週木曜日／総合福祉センター			**1**　2月13日 友引	**2**　14日 先負 弁護士無料法律相談 （福岡法務局八女支局） 要予約☎ 050-3383-5502	**3**　15日 仏滅 なんでも人権相談所 （八女市社会福祉会館）	**4**　16日 大安
5　17日 赤口	**6**　18日 先勝 べんがらの日（べんがら村） 大浴場お一人様300円	**7**　19日 友引	**8**　20日 先負 なんでも人権相談所 （筑後市勤労者家庭支援施設） （立花市民センター） 花祭り （㈱立花商事敷地内） 釈迦堂甘茶まつり （八女市亀甲）	**9**　21日 仏滅	**10**　22日 大安 なんでも人権相談所 （地域交流センター）	**11**　23日 赤口
12　24日 先勝 八女軽トラ市 9:00～12:00 （八女観光物産館駐車場）	**13**　25日 友引	**14**　26日 先負 無料弁護士法律相談 13:30～（八女民主商工会会議室） 要予約　24-2727	**15**　27日 仏滅 社会保険個別相談会 10:00～16:00（八女商工会議所） 要予約　☎22-5161	**16**　28日 大安 なんでも人権相談所 （広川町はなやぎの里） 弁護士無料法律相談 （福岡法務局八女支局） 要予約☎ 050-3383-5502	**17**　29日 赤口 定例法律相談会（要予約） 10:00～12:00 （八女商工会議所）☎22-5161	**18**　30日 先勝 人生史サークル黄櫨の会 （福祉会館） 久留米つつじマーチ ～19日　（八女歩こう会）
19　3月1日 先負	**20**　2日 仏滅 べんがらの日（べんがら村） 大浴場お一人様300円	**21**　3日 大安	**22**　4日 赤口	**23**　5日 先勝	**24**　6日 友引	**25**　7日 先負 男ノ子焼の里れんげ祭り ～26日　（立花町北山）
26　8日 仏滅 八女軽トラ市 9:00～12:00 （八女観光物産館駐車場） お風呂の日（特典あります） （グリーンピア八女）（公園の宿） （温泉館きらら）（べんがら村） 総会ウォーク （八女歩こう会）	**27**　9日 大安	**28**　10日 赤口	**29**　11日 先勝 昭和の日	**30**　12日 友引		

天空公園だより 125

春風到来、花ひらく

詩人 椎窓 猛

“山越えて空わたりゆく遠鳴の風ある日なりやまざくら花“

歌人牧水が詠む桜のうたはみな山桜のみである。奥八女矢部では日向神ダム湖畔の千本桜を観光の目玉としてスポットライトをあてゝいるが、『杣のふるさと文化館』（旧矢部中校舎）裏手の高台広場から遠望の城山に点々の山桜の景も、牧水の歌に感じとられるような味わいがひそむ。

さて、筑後舟小屋の『九州芸文館』では3／11～4／5の間、「筑後の画郷を創った先人画家達展」開催。出品画家67人。世に広く知られた坂本繁二郎、青木繁、田崎廣助画伯はもとより、秘蔵の名作も津留館長の眼力による発掘の展示。筑後一帯にこれほどに豊富多彩な文化芸術の色どりを持つかと深い感銘を覚える。私も旧友亡き穴見清の力作「この橋はなかった」と題した油彩画一点展示の機会を得たが、新設の、しかるべき展示の場を得れば一段と光彩を帯び力作と見られわがコレクションにひそかな誇りを感じた。

芸文館では、つづいて、『愛樹祭コンクールによる世界の児童画展』4／11～5／28の企画開催。「愛樹」のテーマにより、世界の子供たちが、私たちの住む自然環境への思いを、国を越え、表現の作品展示。このコンクールは発想以来、今年で24回目。なにとぞ、世界の子どもの息吹きを見てくださいますように…。